

SPring-8 利用協議会
「ガラス・セラミックス研究会」

1. 目的

ガラスやセラミックス材料を製品化するための研究開発には、これらの材料の機能性発現を分析・解析する評価計測技術の構築が求められている。熱物性や機械物性そして光物性等の発現は、材料の電子や原子・分子構造の振る舞いに左右される。これらの電子や原子・分子構造を調べる手段として、SPring-8 の放射光を用いた種々の構造解析手段が最適であり、ガラスやセラミックス材料への適用が期待されている。

SPring-8 の JASRI 産業利用ビームラインの XAFS、粉末や多目的 XRD そして XPS 等の分析手法は、ガラスやセラミックス材料の機能性発現を評価し、製品開発に繋がる計測分析手段として、産業界において期待されている。

そこで、ガラス・セラミックス分野において、SPring-8 の特徴を活かし、さらなる産業界の利用の拡大と利用技術の高度化を目指した活動を行うことを目的に、SPring-8 利用協議会・研究開発委員会の中に新しく「ガラス・セラミックス研究会」を立ち上げることにした。

2. 活動内容

I. 研究会の実施

さまざまな機能性を有するガラスならびにセラミックス材料分野を対象にして、主に放射光実験による機能性発現機構の解明と利用拡大を目指す。フォトンクス、電子物性、ナノ構造制御から生態機能までさまざまな機能性を有するガラスならびにセラミックス全般を対象とする。

II. 期間・開催頻度

頻度：年 2 回程度（東京、大阪地区）の開催を予定

期間：平成 22 年度～同 24 年度 2 年間

III. メンバー

研究会主査：辰巳 砂 昌弘 大阪府立大学 教授

幹事：梅咲 則正 JASRI 産業利用推進室 特別嘱託

会員：SPring-8 利用協議会会員企業、その他産学官からの希望者。

関連する学・協会からの協賛を得て広く募集をする。